



病棟紹介⑩

I C U (集中治療室)

ICUとは、Intensive Care Unitの略で、循環、呼吸、代謝疾患関連の急性期や大きな手術後などの患者さんを集中的に治療する病棟です。関東中央病院のICUではおもに心筋梗塞や狭心症、解離性大動脈瘤、心臓外科や脳外科の手術後の方が治療を受けています。東京都では救急医療体制の充実のため「CCUネットワーク」と「脳卒中ネットワーク」を設けており、当院も参加しています。これは、急性心筋梗塞などの突然死に繋がる急性の心血管の病気や脳卒中を発症した方を速やかに救急搬送し、専門医療機関へ収容することが目的です。これにより救急搬送された患者様は、発症早期から治療を受けることができ、生命危機からの脱出や脳卒中による後遺症を少しでも軽減することが可能となりました。当院のICUは6床で、集中治療が必要だと医師が判断したら、外来、入院を問わず24時間いつでも対応します。

関東中央病院ICU看護師の使命

1. 私たちは、集中治療を必要とする患者様へ根拠に基づいた安全で適切な医療と看護の提供に努めます。
2. 患者様、ご家族様の思い、意思決定を尊重し丁寧に安心できる看護を提供します。



私たちが最も大事にしているのは、安全な医療・看護の提供です。当たり前ですが医師からの治療の指示や薬剤は非常に細かく複雑なので、複数の看護師で確認するなどの安全行動に努めています。当院のICUには集中ケア認定看護師がおり、集中ケア看護の専門家としてスタッフへ知識・技術を普及しています。例えば人工呼吸器を付けている患者さんでも寝たきりにならないように、治療の早期から座位を取っていただくなど体力の回復を促進しています。また、ICUでは使用する医療機器の取り扱いや管理などの知識技術も必要です。職場内学習会や院外セミナーへの参加などの研鑽も欠かせません。

11月24日付の朝日新聞に「集中治療室ICU」についての記事が掲載されました。タイトルに“実は十中八九、助かっています”とあり、患者にとってはICUに入ることは命の危機という受け止めが通常であるが、日本集中治療医学会理事は「医療には限界があるものの、日々進歩している。ICUは患者を生還させるための場所である」とのコメントがありました。ICUの責任者になって日が浅い私ですが、ICUで治療を受けられた患者様がその後一般病棟での療養を終えて退院される時「ICUとは、患者を生還させる場所なのだ」というこの記事が強く心に浮かんできます。

ICUのご利用に関することなどご不明な点は、病院看護部までお問い合わせください。



手術を終えた患者様の入室



医師からの指示を確認中



人工呼吸器を付けた患者様のケア

ICU看護師長：今井 文子